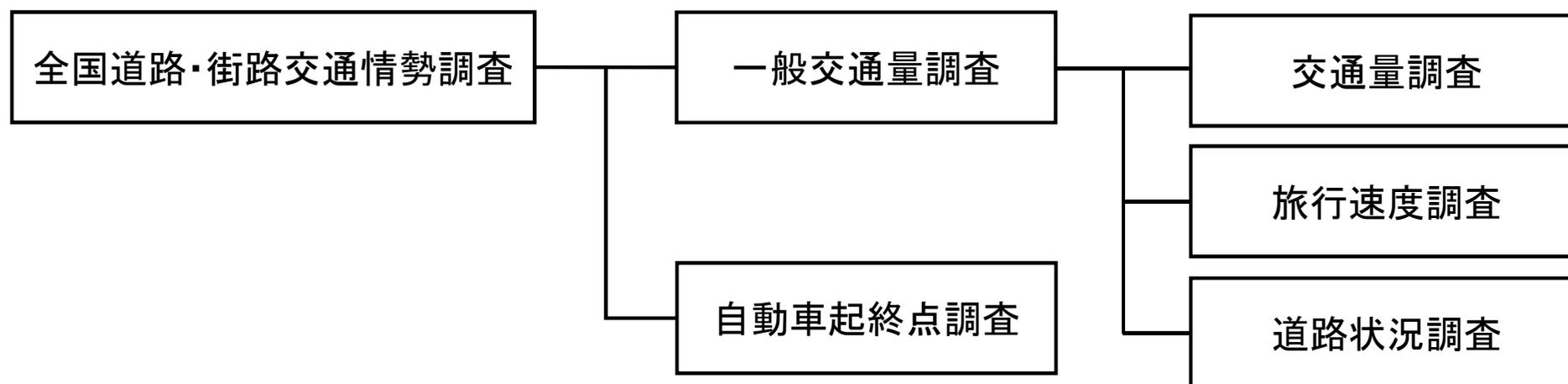


道路交通センサスのデータ収集の現状と課題

全国道路・街路交通情勢調査の概要

- 全国道路・街路交通情勢調査は、昭和3年から、概ね5年に一度、一日調査を実施
- 道路の計画・建設・維持修繕その他の管理などについての基礎資料を得ることを目的に実施

■ 全国道路・街路交通情勢調査の調査体系



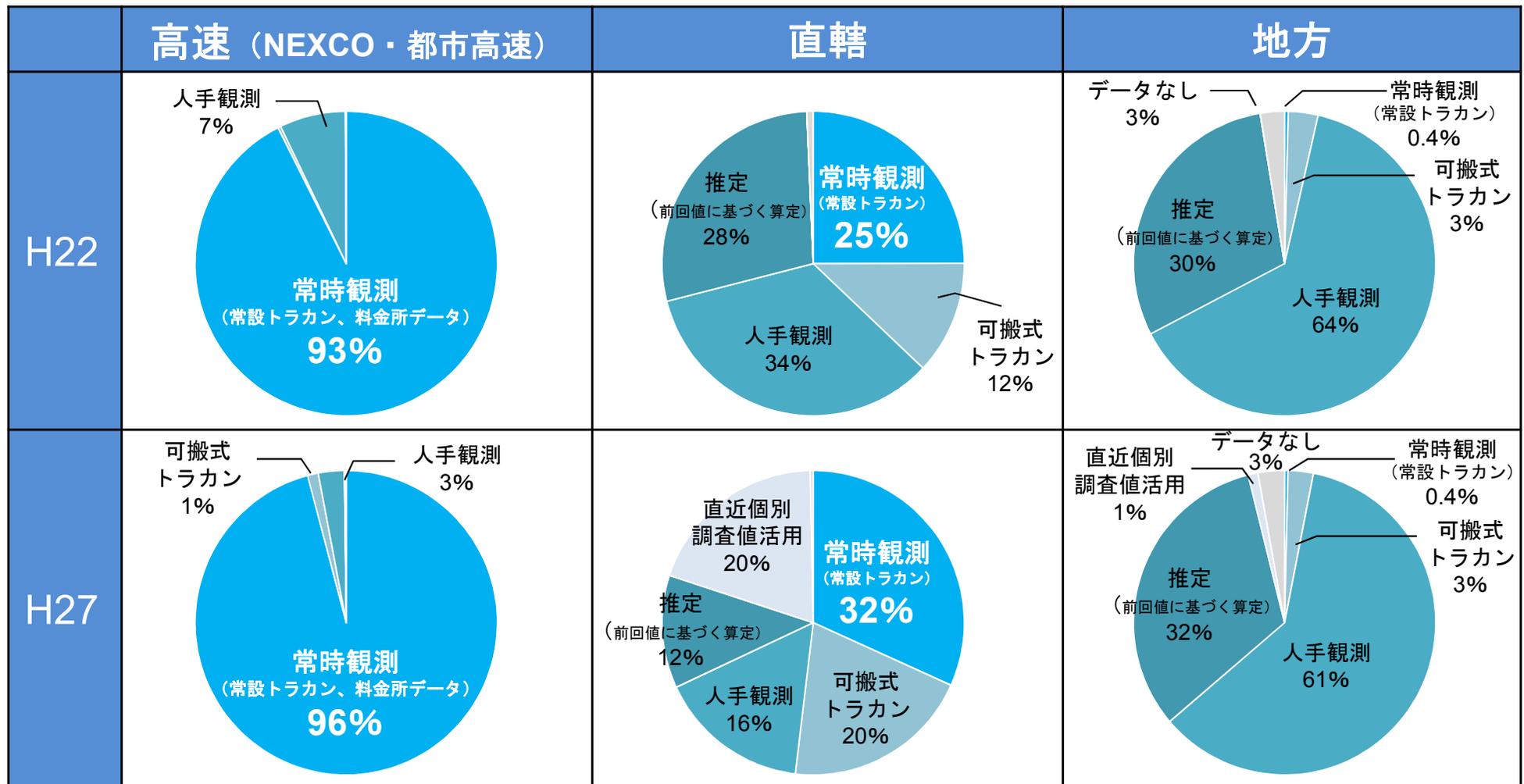
■ 調査対象道路

| 道路種別 | 延長 (km) | |
|---------------------|---------|---------|
| | H22 | H27 |
| 高速自動車国道 | 7,808 | 8,687 |
| 都市高速道路 | 742 | 787 |
| 一般国道 | 54,874 | 55,685 |
| 都道府県道等 [※] | 128,446 | 129,003 |
| 合計 | 191,870 | 194,162 |

※都道府県道等には、指定市道の一部を含む

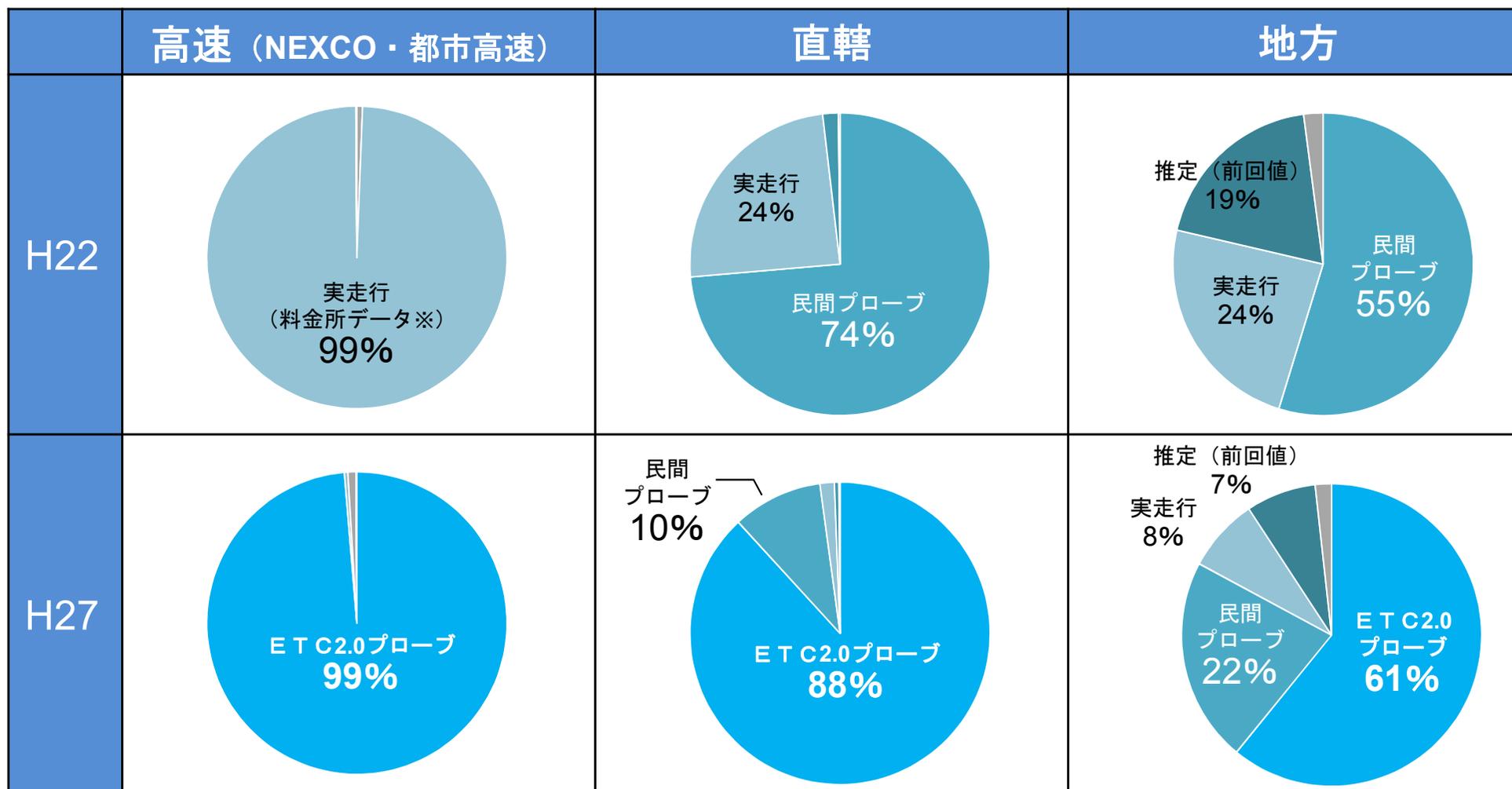
交通量調査の概要

- H27調査は、常時観測装置や可搬式トラフィックカウンター等の機械式調査を積極的に導入
- 直轄国道は、約5割が機械観測（常時観測は約3割）
- 高速道路は、ほぼ全てが機械観測
- 地方では人手観測が約6割と最も多い



旅行速度調査の概要

- H22より民間プローブを活用、H27はETC2.0プローブ情報を活用
- 直轄国道は、ほぼ全てが機械観測（約9割がETC2.0プローブ）
- 高速道路は、ほぼ全てが機械観測（ほぼ全てETC2.0プローブ）
- 地方では、約8割が機械観測（約6割がETC2.0プローブ）



※ETC及び通行券の料金所出入り時刻差等から算出

自動車起終点調査の概要

- H22より郵送調査を導入、H27では郵送調査・WEB調査を導入
- NEXCOが実施する高速OD調査では、H22よりWEB調査が100%（OD表は営業データより作成）
- 国が実施するOD調査では、約3割がWEB調査（H27より訪問調査は廃止）

| | 高速（NEXCO） | | 直轄・地方 |
|-----|---------------------------|-----------------------|--|
| | OD | トリップ目的 | OD・トリップ目的 |
| H22 | 高速営業データ(ETC等) からOD表を作成 | <p>WEB調査 100%</p> | <p>郵送調査 52%</p> <p>訪問調査 48%</p> <p>※近畿PT調査分(自家用乗用車個人使用の簡易調査票)を除く</p> |
| H27 | | <p>WEB調査 100%</p> | <p>WEB調査 28%</p> <p>郵送調査 72%</p> |

※地方管理道路については、国が直轄区間と併せて調査

ETC2.0プローブ情報を収集する路側機の設置状況

○ 全国の高速道路本線や国道・道の駅を中心に路側機を約4000基設置(H30. 4時点)

■ ETC2.0の機能

データ収集



路側機(H30.4時点)
高速道路約1,700カ所
直轄国道約2,000カ所

車載器(H30.9末時点)
約312万台

位置データ
加速度データ
車載器ID

データ作成

道路管理者



速度

経路

急ブレーキ

データ活用

渋滞対策

交通安全
対策

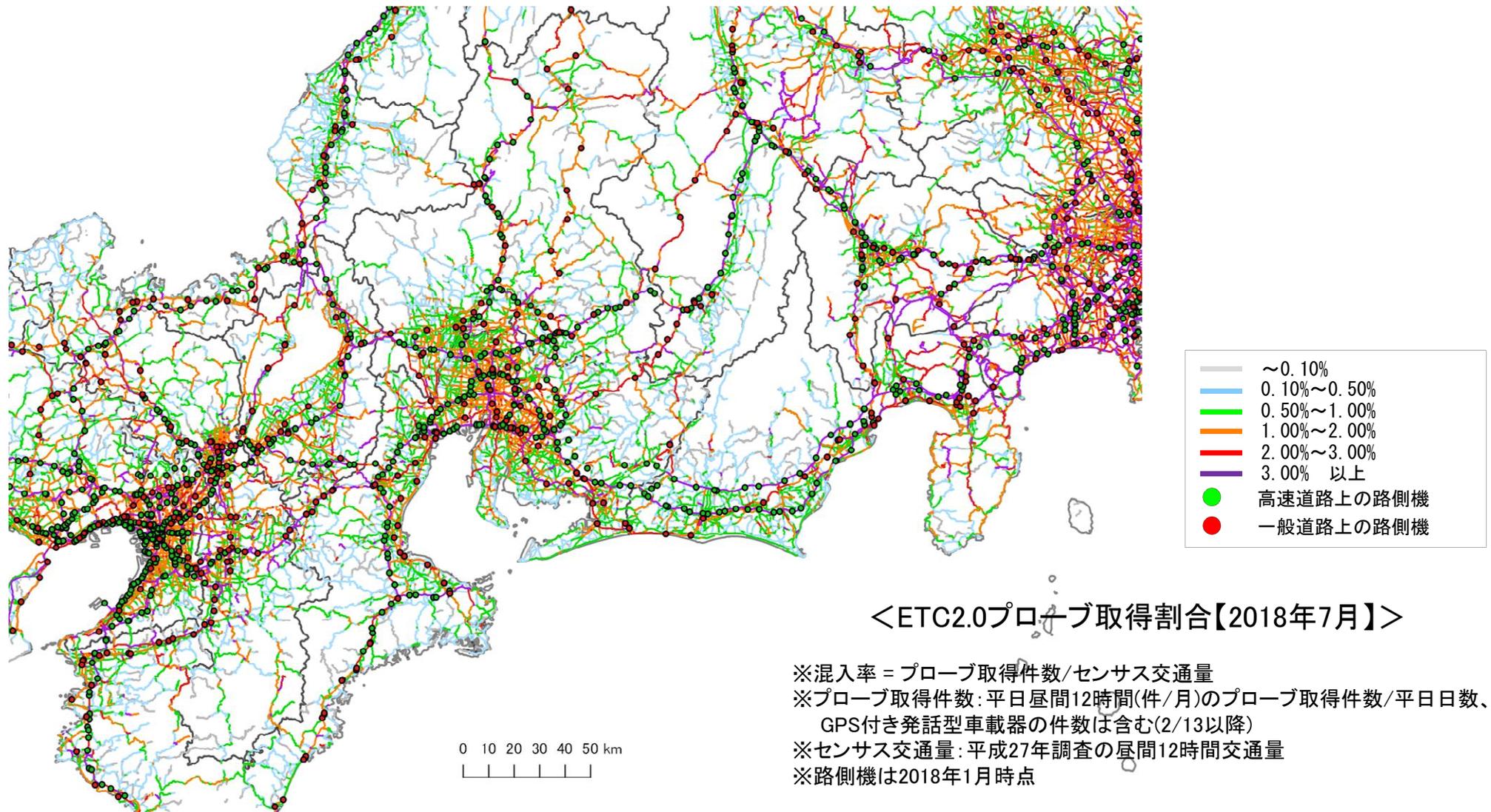
料金施策

物流支援

公共交通
支援

ETC2.0プローブ情報の取得状況

- ETC2.0プローブ情報の取得には、都市部と地方部間等での地域差が存在し、特に半島部における取得率が低いのが特徴。
- 本プローブ情報を活用する際には、データ未取得区間の取り扱いが課題。



CCTVカメラの設置状況

- CCTVは、直轄管理区間に約14,000箇所設置され、交通量調査単位区間ベースで、カバー率は51%である。
- 道路管理を主目的とした設置であるため、路線及び地域状況による偏りが存在

直轄国道におけるCCTVの設置状況
(千葉国道事務所の事例)



直轄国道におけるCCTVの設置区間数

| | 交通量調査単位区間数(H27センサス) | | |
|------------|---------------------|------------|-----|
| | 計 | うちCCTV設置区間 | |
| 常設トラカン設置区間 | 1,054 | 739 | 70% |
| その他区間 | 4,070 | 1,896 | 47% |
| 合計 | 5,124 | 2,635 | 51% |

【CCTVの主な設置箇所】

- 落石、崩落等、土砂災害発生のおそれがある箇所
- 積雪等による交通障害、地吹雪、雪崩のおそれがある箇所
- 波浪、高波等による越波又は洗掘のおそれがある箇所
- アンダーパス等、降雨による冠水等のおそれがある箇所
- トンネル等、災害発生時の避難行動に制約を受ける箇所
- 地下横断施設等、セキュリティー等の観点から重要な箇所